

小学校3・4年生～

2019年12月 no.73

2019

# よんでネット\* 冬号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

たの しろ がくしゅう 「とう みん からだの中で何が起こっているの？」  
楽しい調べ学習シリーズ 冬眠のひみつ

〔監修〕近藤宣昭



PHP研究所〔48P〕

動物のなかには きびしい冬をのりきるため、  
エネルギーを節約し、冬眠をするものもいる。  
でも冬眠の方法は 一つじゃない。寒くなると体が  
動かせなくなったので、しかたなく冬眠するものと、  
本当は 動けるのに、わざと動かなくして冬眠する  
ものがある。冬眠の間のリスのトイレは？  
冬眠をする魚もいる？人間は冬眠ができないの？  
この本を読めば 冬眠のひみつがわかるよ。



福音館書店〔989口〕

「クリスマスのあかり ～チエコのイブのできごと～」  
レンカ・ロジフスカー作  
出久根育 絵  
木村有子 訳

一年生の フランタ は、バツレハムのあかりをもらうため  
ひとりで教会に出かけた。礼拝堂の募金箱は、  
お金をいれるとベルが鳴る。フランタは ぶりやり  
大きな硬貨をいれ、つまらせてしまう。そのまま  
にげるように教会を とびだしたフランタだが、その後  
気のどくな おじいさんを助けるため、どうしても その お金が必要になり…



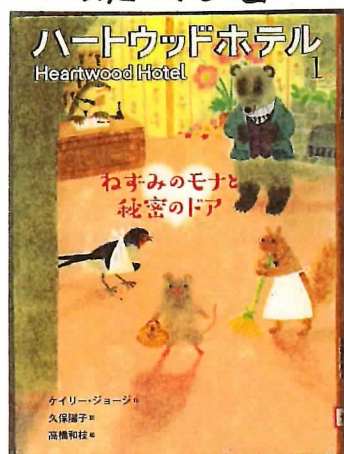
# 「ハートウッドホテル」ねずみのモナと秘密のドア

ケイリー・ジョージ作 久保陽子訳 高橋和枝絵

ひみつ

(既刊3巻)

小さい時に家族をなくし、ひとりぼちのねずみのモナ。  
ある日、大嵐におそわれ、たつたひつつの形見のカバンを手に  
嵐の中を逃げまどいます。ようやくたどりついたのは、  
見たこともない大きな木。幹にはほられたハートの印に  
ふれてみると、カチャリ。ドアが開きました。そこは明るくて  
暖かな場所「ハートウッドホテル」。モナはここで働くことに…。



童心社(933ジ)

## 「お話の種をまいて」

プエルトリコ出身の司書 プーラ・バルブレ

アニカ・アルダムイ・デニス / 作  
パオラ・エスコバル / 絵 星野由美 / 訳

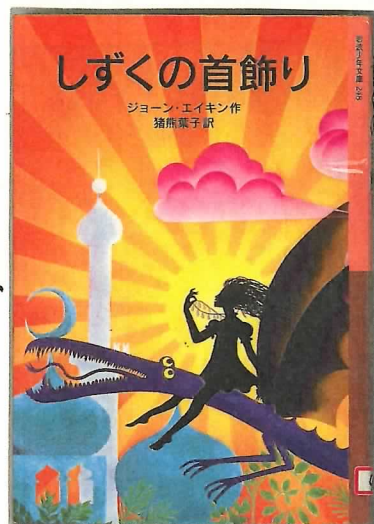


汐文社 [E・絵本のコーナー]  
ちようぶんしゃ

ふるさとでおばあちゃんのお話を聞いて育ったプーラは、  
ニューヨークの図書館で働くことになりました。ところが  
図書館の本だには、ふるさとの民話の本は1冊も  
ありません。そこで、プーラは図書館でふるさとのお話を  
語り始めました。子どもたちの心の中でお話の種が  
芽を出して育っていきます。

## 「しずくの首飾り」

ジョン・エイキン 作  
猪熊葉子 訳



岩波少年文庫(9081)

首にかけていれば、雨をふらすことも やませることもできる  
「雨のしずくの首飾り」のお話。空のかけらの入ったアップパイが、  
おばあさんも おじいさんも ネコも ゾウも乗せて空を飛んだ  
お話。イーストを食べたネコがクジラくらい大きく  
ふくらんだお話など…。  
キラキラ不思議なお話が全部で8話。